

2025年5月9日

「中核フードバンク団体育成事業」公募結果のご報告

一般社団法人全国フードバンク推進協議会は、一般財団日本民間公益活動連帯機構（JANPIA）が実施する2024年度通常枠〔第1回〕において、資金分配団体として公募した「中核フードバンク団体育成事業」への申請団体を、下記の通りご報告いたします。

記

1 応募状況について

公募期間：2024年12月3日から2025年1月10日

説明会参加団体数：34団体

応募総数：12団体

2 申請団体

申請団体の詳細は以下の通りです。（順不同）

団体名	一般社団法人フードバンクすずか
所在地	三重県
事業名	（主）三重県内における食支援セーフティネットワーク構築と食品提供企業数の拡大強化
事業概要	<p>食品を必要とする世帯に必要な食品が継続して提供され、食に欠けてしまう状況から脱却出来るようになること、また、食品ロスを削減するという先駆的なモデルとなることを本事業のビジョンとします</p> <ul style="list-style-type: none">・三重県内の食支援セーフティネットワークの構築 <p>財政的な基盤の拡大、食品の収集強化を目指します。加盟する12のフードバンクと各市町村の社会福祉協議会や食支援団体（こども食堂・フードパントリー等）との地域ネットワークを形成し、円滑に、効果的に遂行し、食品・物品・資金の調達力を高め、ネットワークでの供給・提供が継続して行う。また、鈴鹿市、松阪市、津市、四日市市、亀山市に8カ所のフードパントリー団体（食料配布のみ）が設立されていますが、今後、県内6カ所にフードバンクがあることが望ましく、活動基盤となるネットワークを構築することで横断的機能を発揮し、企業の食品ロス対策の受け皿になり得るとも考えております。また、これらのフードバンクが中心となり、家庭からの食品ロス対策として、各市町地域ネットワーク（こども食堂など）での定期的なフードドライブの実施をしたいと考えます。</p>

団体名	特例認定特定非営利活動法人フードバンク愛知
所在地	愛知県
事業名	(主) 愛知県下におけるフードバンクネットワーク構築事業
事業概要	<p>これまでの行政、企業、福祉団体、他NPO（含・県内の他フードバンク）、個人との連携の輪をさらに広げ、それらを網羅したネットワーク組織（仮称：愛知フードバンク・ネットワーク）を新たに設立する。それにより、寄贈される食品の量をさらに増やしていくとともに、弊団体が中核的役割を果たしつつ他の支援団体等と連携、分担して、あまねく生活困窮世帯の把握や食料の提供等を行える体制を構築していく。愛知県全体を主な活動エリアとして、さまざまな団体と連携をし、地域全体での効率的な運営や食糧支援の最大化などの中核的フードバンク活動に強化取り組みしていきたいと考えます。今回の事業での取り組みとしては、</p> <p>①現在のペーパーベースのデータ管理からIT化に取り組み、限られた運転資金と人的資源のもとで、情報、物流を最大限の効率で動かし、中核的フードバンク活動の持続化を図る ②一緒に取り組む連携団体をふやし、さらにはそのうちの3か所を目安に物流のサテライト機能を任せることを目指します。愛知県もこども食堂などの支援団体も多く、広域であるため、3か所に物流拠点を置き、これまでの食品をやりとりすることが非効率であった課題面へはIT化を活用し労力をかけないサテライト機能を構築していきたいと考えます。これらにより、連携団体の増加、情報交換や連携が出来るネットワークが広がり、体制を充実させ、持続可能な仕組みを確立したいと考えます。</p>

団体名	特定非営利活動法人セカンドリーグ神奈川
所在地	神奈川県
事業名	(主) 神奈川県および近隣都県を活動地域とした中核フードバンク化発展事業
事業概要	<p>2017～21年、神奈川県が実施するかながわボランティア活動推進基金21の協働事業負担金事業に採択され、【「食」と「地域」をつなぎ神奈川から貧困をなくすためのK-Model構築事業】を県の6つの所管課（こども家庭課、消費生活課等）と実施した。これにより、当団体の行う食料配付と地域で貧困世帯等の支援活動をする団体をつなげる「ピーパーリンク」という仕組みを構築し、現在は当法人のフードバンク事業と位置づけている。</p> <p>当法人の特徴である多拠点配付（県内13か所で毎月15回開催）、冷凍取り扱い（当法人の設立母体、生活協同組合パルシステム神奈川の業務用冷凍庫の一部を使用できるため）、短い賞味期限にも対応（毎月15回の開催があるため）できるといった点をさらに伸ばしていく。</p> <p>また2020～22年、農林水産省のフードバンク活動マッチング支援事業の支援対象に選ばれ、マッチング構築に取り組むなかから、企業の防災備蓄品入れ替え品を活用できる団体とのコーディネートの実業化を行っている。特に大企業の防災備蓄品は大量にあること、防災備蓄品は通常の食事に合わないものも多いこと、オフィスビルからの搬出に手間がかかることもあり、活用先が見つからず廃棄されている食品ロスも多い。</p> <p>今事業で企業の食品ロスの寄贈拡大と、寄贈食品の輸配送と保管能力の拡大を行い、一団体あたりの提供量と、支援団体数を増加させ、さらに多くの生活困窮者支援につなげる。</p>

団体名	特定非営利活動法人フードバンクイコロさっぽろ
所在地	北海道
事業名	(主) 北海道フードバンクネットワークの基盤強化及び DX 化事業 (副) 持続可能なフードバンク事業のモデル構築事業
事業概要	<p>柱1 北海道内のフードバンク団体（以下、FB）への食品のマッチング（最終年度：年間28回目標）及び、各FBの受け取り量の増加を促進（最終年度400t目標） →柱4のDX化により、寄贈企業とFBの両者に負担が少なく迅速に食品寄贈ができ、透明性で信頼がアップすることで、全体の食品受取量を増加させます。</p> <p>柱2 道内FBの学び合いの機会（研修会、情報交換会、シンポジウムの開催、ノウハウの共有）の創出 →研修会（年2回）、情報交換会（オンライン等で年2回）、シンポジウム（年1回）を目安に相互研鑽の機会を持ちます。</p> <p>柱3 道内FBへの伴走支援、立ち上げ支援 →定期的な呼びかけを行い、訪問やオンライン等で個別相談の機会を作ります。専門外のものについては、他分野の方との連携により解決を図ります。</p> <p>柱4 アウトシステムズを活用したアプリの開発とモデル化 寄贈企業からFBへのマッチング、FB内での入出荷記録の管理、FBから受益者（パントリー団体・福祉施設・子ども食堂）へのマッチング、受益者から企業へのお礼までの流れを1つのアプリでスムーズに行っていくような仕組みです。企業にとって寄贈食品の流れがタイムリーに分かり、透明性による安心感を持っていただけるような形を目指します。モデルとして北海道で展開し、全国のFB活動関係者に導入してもらえるような仕組み作りを3年ほどかけて行います。</p>

団体名	特定非営利活動法人フードバンク福岡
所在地	福岡県
事業名	(主) 福岡発フードバンク九州連携事業
事業概要	<p>フードバンク福岡の持つ、運営ノウハウと事業インフラ、商品調達力を活用し、福岡県での基盤整備を進めるとともに、各県のフードバンク団体の基盤強化育成をおこなうことで、地域の団体やフードバンク同士の連携を強め、食品提供の継続支援と幅広い方達への対応が可能になる取り組みをすすめます。事業内容として①食品企業、フードバンク、配送業者をつなぐ受発注システムの構築をおこなう、これにより、各フードバンクの必要量を随時把握し、配送手配の効率化をおこなうとともに、各団体へ提示された、食品企業からの余剰提供分を一括管理し有効活用する②上記内容を担保するために、配送インフラを西九州全域に拡大し食品の委託配送を実施、また、大量入荷に対応可能な施設を確保するために、2025年本部倉庫と事務所の移転を実施、あわせて集約保管のための貸倉庫を確保③地域連絡会の設立をおこない、行動指針、基本計画、品質管理基等に関するスキルアップにつなげる場とします。更に、運用面での情報共有についても連絡会のなかでおこなう。④各地域での食品提供拡大の取り組みとあわせ、食品提供のための伴走支援の実施（九州において食品企業や物流が福岡に集中しており、食品提供を増加させるためには、フードバンク福岡を窓口とした食品提供のためのサポート体制が必要）⑤行政への制作提言を実施</p>

団体名	特定非営利活動法人フードバンク TAMA
所在地	東京都
事業名	(主) 東京多摩地域の食支援のネットワークの拡大と充実 (副) 経済的困窮家庭などへの支援
事業概要	<p>生活基盤が脆弱なひとり親家庭、大学生や就職氷河期世代などの若い世代、外国人、高齢者など、支援を必要としている層は拡大しており、さらなる支援が必要となっている。困窮世帯の多くは物価高騰や電気・ガス料金の上昇など家計の負担が増加している為、より一層生活が苦しくなっている。</p> <p>このような現状の解決のために地域の中核的フードバンクの機能として、東京多摩地域のフードバンク団体、社会福祉協議会、及び子供食堂等の活動を円滑に進めるためにネットワーク化を図る。また、連携強化を図ることで地域全体の食支援体制の充実・拡大を進めて行く。具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 多摩地域の中核フードバンクとして、地域のフードバンク団体との連携強化を図り、十分な食料支援を行って行く。 (2) 企業からの食品寄付量が減ってきている状況にあって、寄贈元企業の開拓・拡大により、食品取扱量の増加を進める。 (3) 多摩地域のフードバンクの設立支援を積極的に行い、食品提供を行うとともに困窮世帯の支援を大幅に拡大していく。

団体名	特定非営利活動法人神戸こども食堂ネットワーク
所在地	兵庫県
事業名	地域フードバンク支援事業
事業概要	書類未提出により情報なし

団体名	一般社団法人こどもの居場所サポートおおさか
所在地	大阪府
事業名	(主) こども食堂ネットワークを基盤とした地域フードバンク育成事業
事業概要	<p>当団体が中核フードバンクとなり、全国企業等からの寄贈物資の受け入れ窓口となる。そこから大阪府内の各市町村域の地域フードバンクがハブとなって、各地のこども食堂等を通じて、貧困状態にある子どもや子育て家庭等に寄贈物資を届ける。</p> <p>各地域フードバンクには、本事業の取り組みを案内し、連携を進めていく。各地域ごとの実情に合わせて、地域フードバンク運営や立上げのサポートも行っていく。大阪府内の自治体や社会福祉協議会、経済団体や業界団体等に、本事業の取り組みを案内し、当団体が受け入れの窓口になるとともに、各地域フードバンクへの紹介も行っていく。地域フードバンクとともに学び合う情報交換会や研修会、社会に発信するキャンペーンや広報活動等を実施していく。全国の中核フードバンクとも学び合い、中核フードバンクとしての活動を確立する。</p>

団体名	認定 NPO 法人セカンドハーベスト京都
所在地	京都府
事業名	(主) 中核フードバンク団体基盤整備事業
事業概要	<p>現在、京都府内各地域フードバンク7団体が個別に活動していることにより、寄贈者である企業は以下のような状況に直面しています：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. どの団体を選んだらよいか迷う。 2. 寄贈する段階において、寄贈品の受入窓口が多数あるため、寄贈企業側の手間が増えている。 <p>これらの課題が、京都府内のフードバンク団体の毎年の食品取扱量が微増に留まっていることのボトルネックであると考えています。</p> <p>そこで、中核団体を中心に地域フードバンク団体をネットワーク化することにより、中核フードバンクを窓口とすることで府内フードバンク全体の食品取扱量を増加させることを目指しています。これにより、より多くの支援を必要とされる方々に食料を提供できるようにすることを本事業で目指しています。</p>

団体名	認定 NPO 法人葵風
所在地	愛知県
事業名	(主) 地域フードバンク事業
事業概要	<p>草の根活動支援事業として、食支援先を現在の岡崎市の行政や子ども食堂中心の支援から生活困窮支援や西三河で活動している団体に対象を増やして行きます。それに伴って、行政と連携して、企業からの食品寄贈を増やします。また、現在フードドライブ行っているお店が12店舗ですが、それを30店舗まで拡げて食品の寄贈を増やすとともに、市民に家庭にある食品ロスになるかも知れない食品を寄贈してもらうことで、市民の貧困問題を身近かに感じてもらい、助け合い支えあう地域社会作りを目指します。その上で就労が難しい人たちに、フードバンク業務を通じて就業のきっかけ作りとなるような就労準備事業を行います。</p>

団体名	特定非営利活動法人フードバンク信州
所在地	長野県
事業名	<p>(主) 食料循環の地域間格差をなくすフードバンク活動の広域団体ネットワークの構築</p> <p>(副) 多様な活動団体が分野の枠を超えて活動できる環境とプログラムの実現</p>
事業概要	<p>困窮者支援、こども食堂ネットワーク、社協ネットワーク等多層なレイアで行われている長野県域における困窮者支援のインフラであるフードバンク活動を、それぞれが得意分野を受け持ちながら、緩やかな連携、情報共有を構築し、フードバンク活動の全県域プラットフォームを構築する。</p> <p>県を巻き込みながら、フードバンク信州がハブとなり事務局機能を持ち全県の連携会議を運営していく。</p> <p>基盤として県内10ブロックにフードバンク活動プラットフォームを設置、それぞれの地域の連絡会を構成し、地域内の団体による広域フードバンク活動の体制をきづくことを目指す。ブロックの活動と全県のフードバンク信州や県社協、こども食堂ネットワークとの連携事業が可能となり、企業連携を進め、確実なものにしていく。</p>

	<p>この体制整備により、長野県内の支援物資の動きを把握でき、フードマイレージを最小にしながら、効果的な食料、支援物資循環につなげていく。</p> <p>日本各地域のFB活動の実際も、多様なネットワーク団体がいくつかのレイヤーにて活動している現状があるが、この事業は、フードバンク活動の地域における一体となった連携体制づくりと多様なステークホルダーを巻き込んだプラットフォーム構築のモデル事業となっていく。</p>
--	---

団体名	新潟県フードバンク連絡協議会
所在地	新潟県
事業名	<p>(主) 北陸四県の中核フードバンク団体連携基盤強化事業</p> <p>(副) 子どもの未来応援プロジェクト領域拡大の推進</p>
事業概要	<p>① 北陸四県（新潟県、富山県、石川県、福井県）における食品寄贈元企業（フードサプライチェーン）の開拓と大規模食品寄贈の受入能力向上、及び食品提供能力、輸配送機能の強化。</p> <p>② 北陸四県の地域フードバンクやフードパントリー、こども宅食団体、社協等への寄贈食品の分配推進。</p> <p>③ 北陸四県の地域フードバンク、パントリー等の設立支援・ノウハウ支援、育成活動。</p> <p>④ 北陸四県の地域フードバンクやフードパントリー、こども宅食団体等への情報提供（こども家庭庁や農林水産省、県や市町村の補助金、民間助成財団等の助成金や「あしながサンタ X'mas プロジェクト」など協働キャンペーンの情報等）。</p> <p>⑤ 北陸四県の地域フードバンクやフードパントリー、こども宅食団体等に対する資金提供の仕組み作りや協働クラウドファンディングの実施（寄付金、助成金の分配等）。</p> <p>⑥ 北陸四県における地域フードバンクやフードパントリー、こども宅食団体等の共通ルールの策定。</p> <p>⑦ 北陸四県における地域フードバンクやフードパントリー、こども宅食団体等と協働して行うキャンペーン活動（合同フードドライブ、夏休み冬休みの子育て世帯への集中的な食料支援、あしながサンタ X'mas プロジェクト等）</p> <p>⑧ 北陸四県において地域フードバンクやフードパントリー、こども宅食団体等と協働して行う政策提言活動やアンケート。</p>

以上